

令和元年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	ねりまワインプロジェクト
事業名	食農文化のまち練馬 ～ALL 練馬で ワインづくり～

1 令和2年度の事業継続

[可 ・ 不可] とする

2 令和元年度を取組実績

[活動の仕組みづくり]

- ・ねりまワインファームメイト（562名）※前年比428人増
※うち、プロフェッショナルリーダー養成講座受講生30名
- ・Facebook フォロワー（560名）※前年比約190人増
- ・農地の賃貸借契約による自社畑の確保

[活動実績]

- ① 23区初の地域ブランドワイン「ねりまワイン2019」の完成
- ② ファームメイト向けイベントの開催
交流セミナー（参加25名）／ぶどう傘かけ体験（参加20名）／収穫・醸造体験（参加10名）／ラベルデザイン募集（応募23作品）／瓶詰・ラベル貼り体験（参加5名）ほか
- ③ 世界都市農業サミット ワールドマルシェ出店

3 令和元年度の評価

2年目となる今年度は、都市農業の魅力を様々な機会を捉えて発信しながら、23区初となる地域ブランドワイン「ねりまワイン2019」を送り出すことができました。そして、活動の基盤となる自社畑を確保し、その畑を継続的に管理する人材を育てる「プロフェッショナルリーダー養成講座（以下、「プロ講座）」を始動させたことも大きな成果です。

今後、「ねりまワイン」を1,000～2,000本単位で安定生産・供給するためには、プロジェクトを組織として運営していく必要があります。活動の発展と共に、プロジェクト初期メンバーに加え、プロ講座受講生や、一般のファームメイト、ボランティアなど、関わる人の繋がりが大きく広がっています。プロジェクト代表者の他に、プロ講座の受講生などの中からメンバーを取りまとめるリーダーや事務局を担う存在を見出していくことが必要です。

また、事業継続のためには、安定した収益の見通しを立てることも重要です。ワインづくりという事業の性質上、最終的には完成したワインの味で評価をされることは免れません。消費者から評価され、安定的な収益につながるように、「練馬らしく」、かつ、美味しいワインの完成を目指してください。

令和2年度は、区との協働事業としては最後の年となります。専門家による経営相談を活用し、持続可能な組織体制づくりや、区との協働効果が期待できる活動に取り組んでください。期待しています。